

新火葬場地域経過報告会

～これまでの経過報告と今後の進め方について～

平成22年7月

市民環境部環境課

1

現在の火葬場の状況

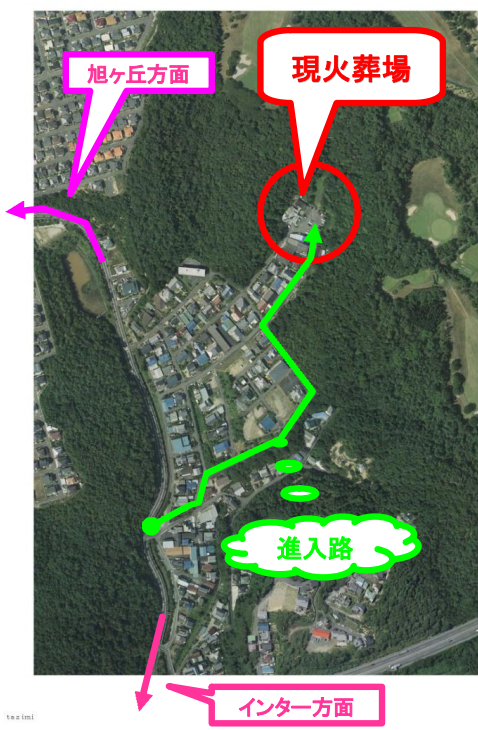
- 建設年 昭和43年
- 火葬炉 4基、動物炉 1基
- 告別室 個室無し
- 収骨室 1室
- 待合室 2室
- ☆ 玄関から火葬炉前が見える！
- ☆ 施設全体の老朽化が進んでいる！
- ☆ 一部で雨漏りしている！
- ☆ 待合室等が現代ニーズにマッチしていない！



2

現在の火葬場の状況

現在の火葬場は、多治見市の中心部にあります。
しかし、幹線道路から生活道路を経由しないと施設に入ることができません。



3

いまなぜ火葬場を建設するのか

- ① **施設のな問題**
 - 建物の老朽化
 - 旧式な火葬炉から発生する臭いと煙
 - 火葬炉の前が開放構造のため遺族等のプライバシーが保てない
 - 待合室等が現代ニーズにマッチしてない
- ② **将来的な問題**
 - 火葬需要の増加に対して火葬炉数が不足
 - 火葬炉が旧式なため今後のメンテナンスに不安
- ③ **財政的な問題**
 - 財政的に有利な合併特例債を使って建設
 - 合併特例債の期限は平成27年度

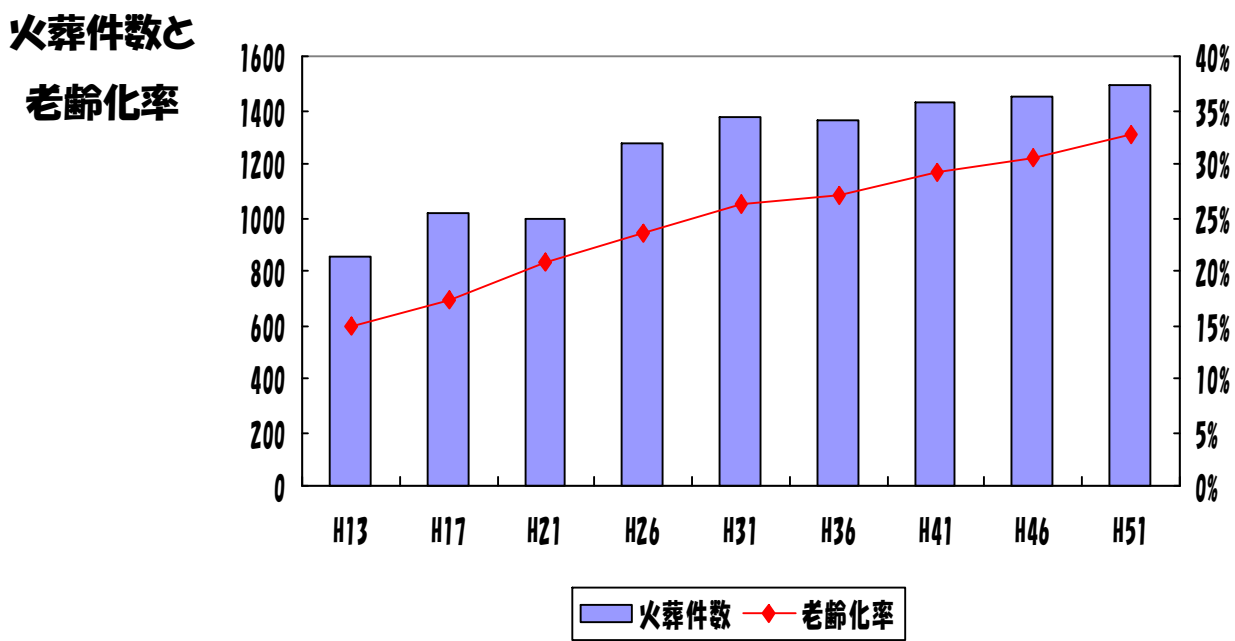


だから今建設を始めなければならない！！

4

火葬場利用状況と予測

☆火葬場の利用需要は増大します



5

火葬場の利用予測

現在から平成51年度までの需要予測

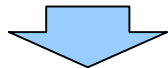
- 年間利用 1,000体～1,400体
- 1日当り 4体～6体

車輛で1日50台程度

6

これまでの経過

- 平成18年度に施設規模計画を市役所内で検討
- 平成19～20年度に有識者による適地の選定
「現火葬場隣接地」として答申



生活道路等の問題から、断念



再度、市役所内プロジェクトチームで、新たな候補地を抽出



新たな候補地を元に、建設検討委員会にて選定中

7

新たな候補地選定の考え方

☆ 当初の敷地規模計画を踏まえて、以下の考えを追加しました。

- ① 主要幹線道路から生活道路経由しないで直接進入できること
- ② 周囲に緑地帯を設けることができ、静寂感を確保できること
- ③ 大規模な造成工事が必要でないこと
(主要幹線道路から長い進入路が必要な建設候補地でないこと)

8

新火葬場の基本コンセプト

利用される方に対する考え

- ☆旅立つ故人を見送るのに相応しい空間であること
- ☆遺族と会葬者にとって心の和む空間であること
- ☆遺族と会葬者の心情に配慮した設計にすること

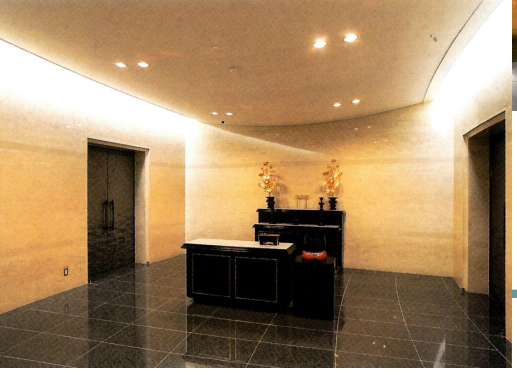
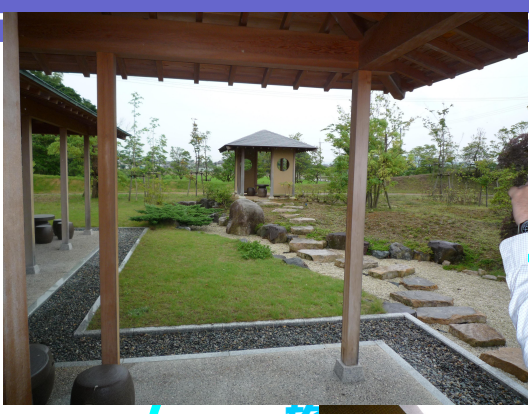
周辺環境に対する考え

- ☆緑に囲まれて心を癒す空間であること
- ☆最新技術の導入等による環境配慮を行うこと
- ☆周囲の景観に配慮した建築デザインであること

経済性に対する考え

- ☆可能な限り、建設費用や維持管理費用が経済的であること
- ☆維持管理や保守の行いやすい設計であること

新火葬場の基本コンセプト



建設費用や維持管理
費用が経済的であること

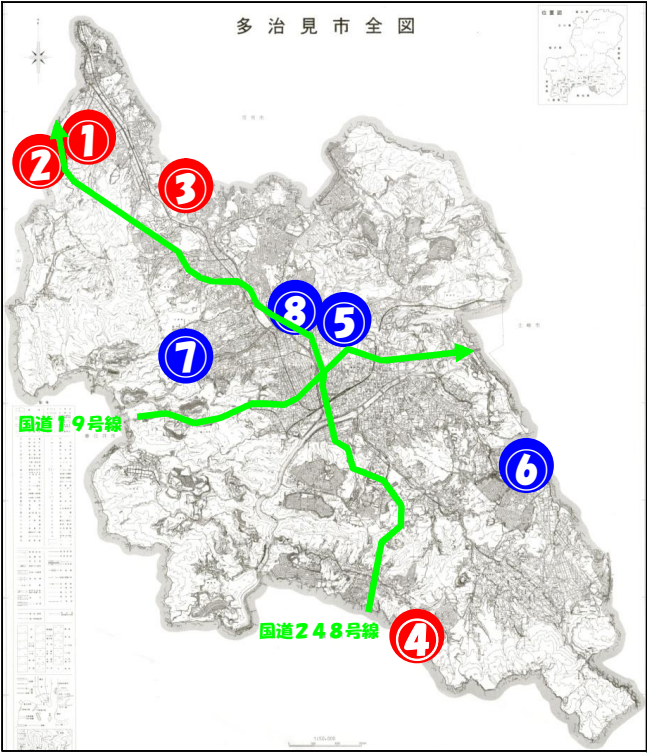
新火葬場の施設規模

①敷地面積（平場）	8,000㎡～10,000㎡
②施設床面積	1,700㎡～2,000㎡
③火葬炉数	5炉（将来6炉にできる空間を確保）
④動物炉数	1炉
⑤告別室	2室（個室）
⑥収骨室	2室（個室）
⑦待合室	3室（個室）
⑧霊安室	1室
⑨駐車場	普通車40台ぐらい、バス2台のスペース確保
⑩その他	待合ロビーを待合室前に確保（30人分ぐらい）
⑪想定される事業費	本体（建物と火葬炉等） 約17億円 （※造成費、用地費、取付道路費は含んでいません）

※重要 セレモニーホールはつくりません！！

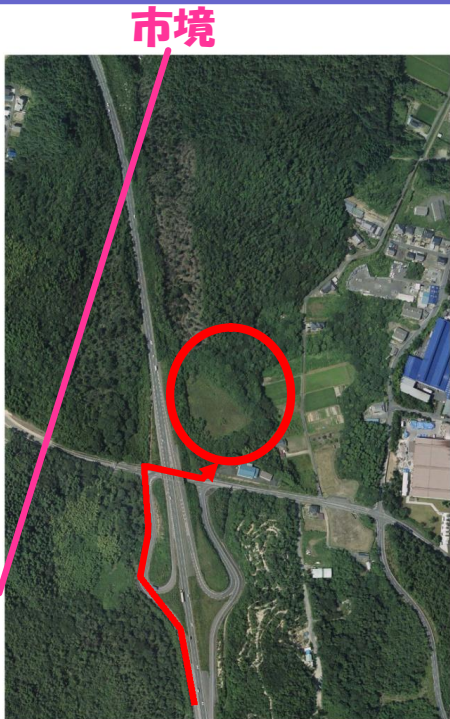
候補地の再選定

- 新火葬場建設候補地
- ①大藪町迫間洞（ため池）
 - ②大藪町迫間洞（旧開墾地）
 - ③松坂町3丁目（昭和生コン対面）
 - ④笠原町梅平（旧ごみ焼却場）
 - ⑤金岡町5丁目（工場跡地）
 - ⑥笠原町森下（旧し尿処理場）
 - ⑦大原町（旧農免道路沿）
 - ⑧光ヶ丘5丁目（中央道沿いの斜面）

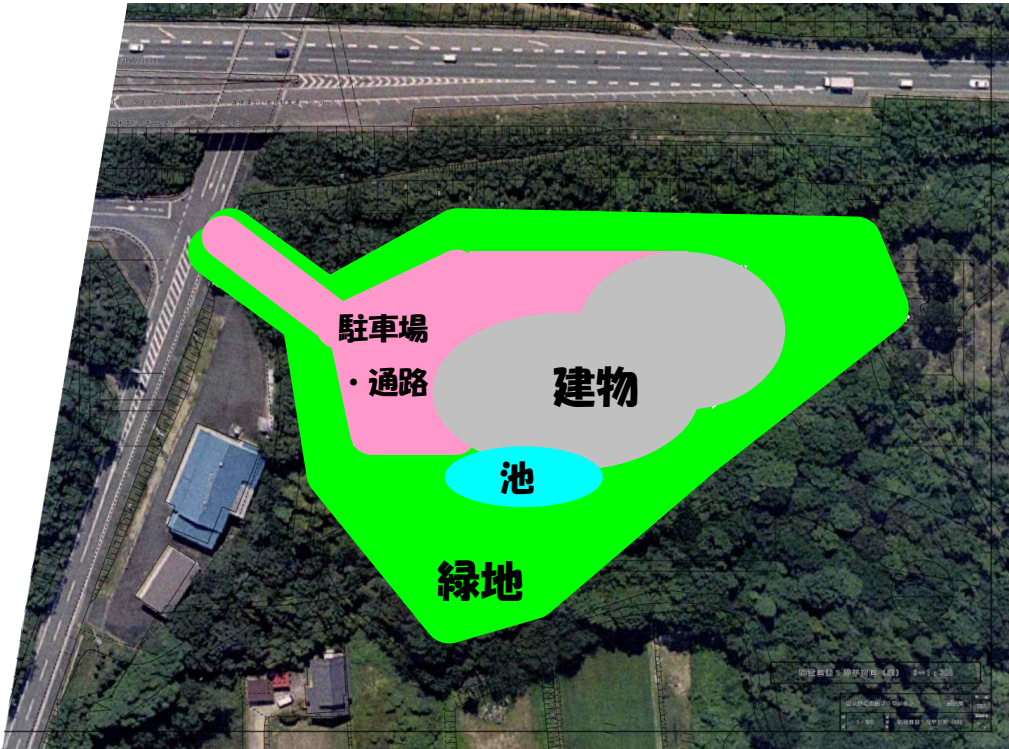


検討している候補地①

①大藪町迫間洞
(ため池)
所有者 官有地(多治見市)
地目 ため池
市街化調整区域
農業振興区域
面積 8,062㎡
接道 県道善師野多治見線
進入経路
・国道248号線大藪インター
から県道善師野多治見線を経由
して直接進入



検討している候補地①



検討している候補地②

①大藪町迫間洞
(旧開墾地)

所有者 民有地 (10筆)

地目 山林、保安林

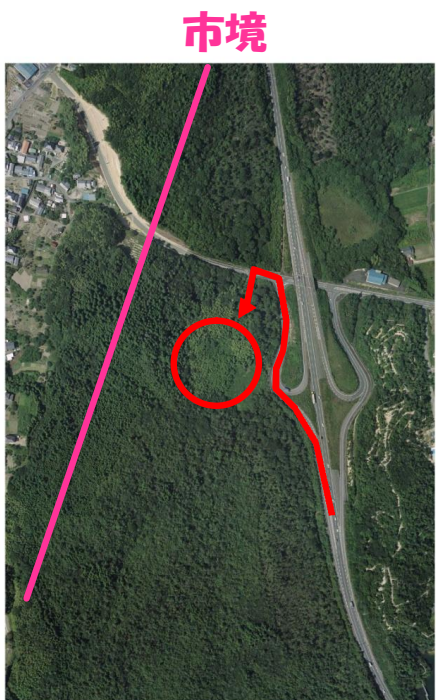
市街化調整区域

面積 14,099㎡

接道 県道善師野多治見

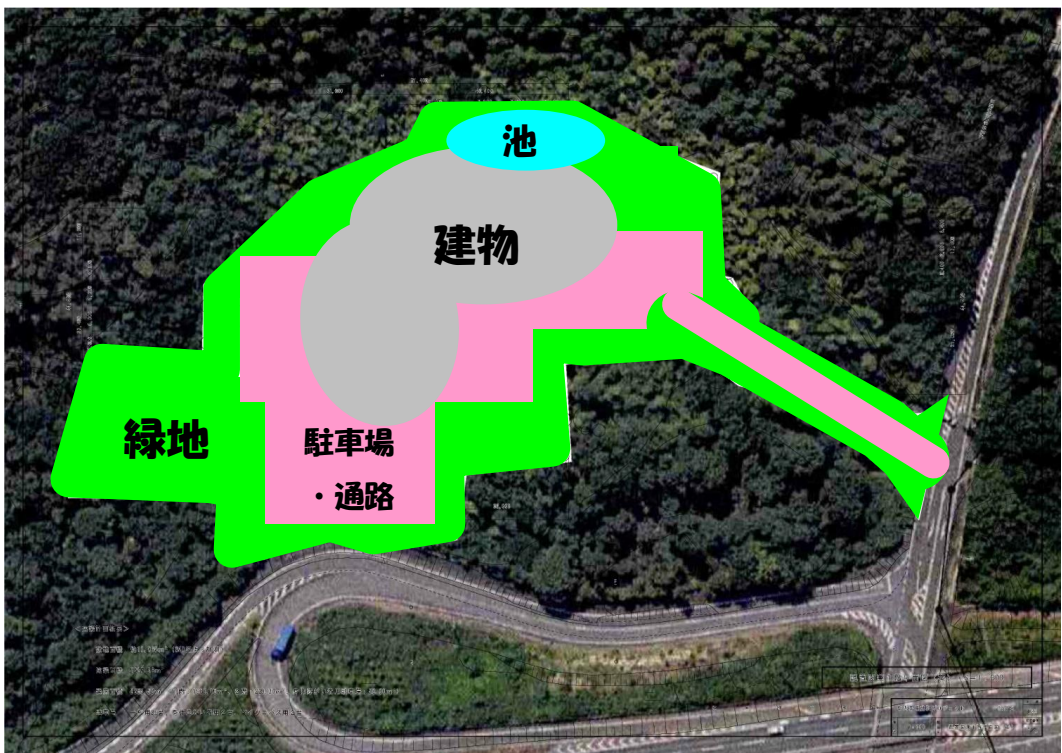
進入経路

- ・国道248号線大藪インターから県道善師野多治見線を経由して直接進入



15

検討している候補地②



16

検討している候補地③

②松坂町3丁目
(昭和生コン対面)
所有者 民有地(2筆)
地目 山林
市街化調整区域
面積 14,756㎡
接道 県道多治見白川線
県道善師野多治見線
進入経路
・県道多治見白川線(旧国道248号)からの直接進入



17

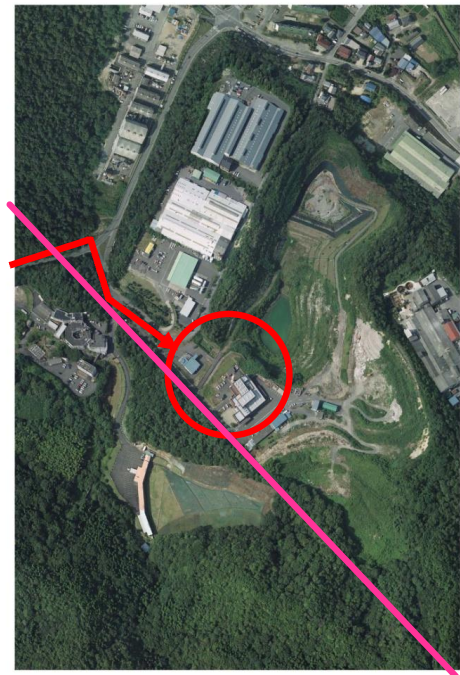
検討している候補地③



18

検討している候補地④

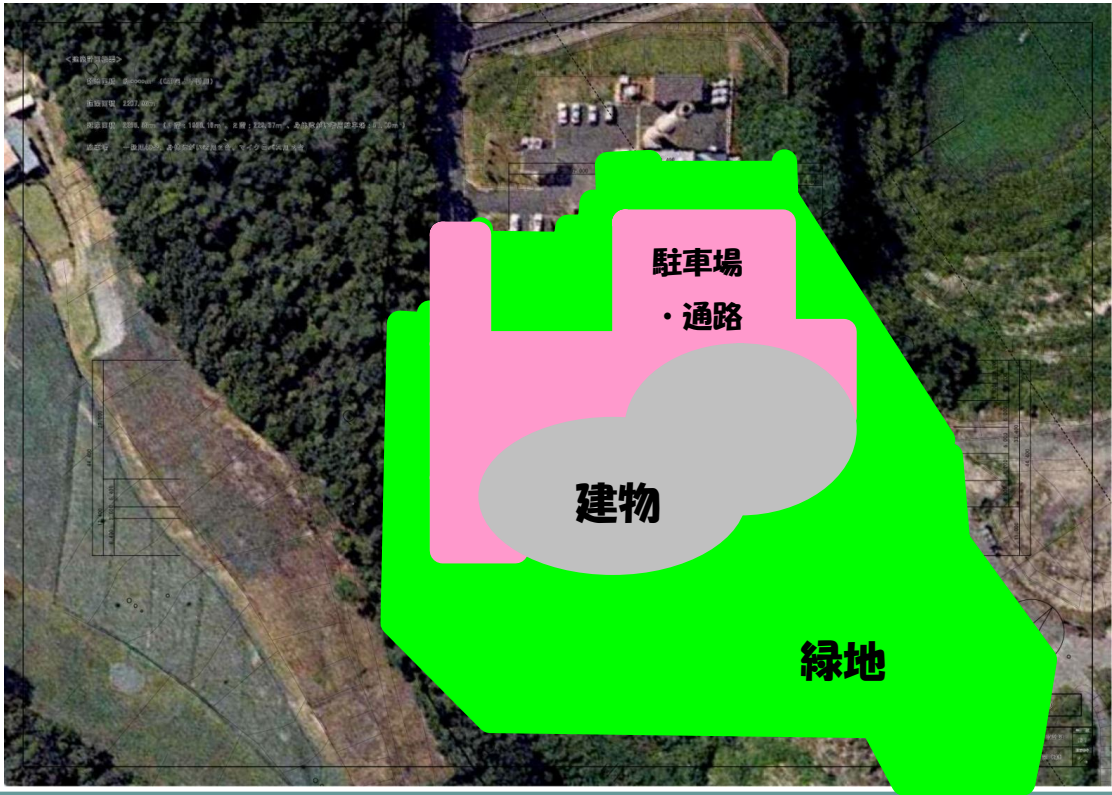
笠原町梅平
(旧ごみ焼却場)
所有者 市有地 (多治見市)
地目 山林
市街化調整区域 (H22予定)
面積 85,016㎡
(埋立処分場用地含)
接道 市管理通路
進入経路
・国道248号瀬戸市経由で
ほぼ直接進入可



市境

19

検討している候補地④



20

新火葬場建設検討委員会について

● 新火葬場建設検討委員会を設置（6月1日）

目的

- ①建設候補地の選定
- ②施設整備計画
- ③その他必要な事項

委員の構成

委員は6名（学識者3名、市民3名）

（位置決定後、地元区長にご参加を依頼します。）



21

検討委員会のスケジュール

①今まで日程

- 第1回 6月 1日 経過報告、先進地視察（羽島市、土岐市）
- 第2回 6月28日 候補地視察
- 第3回 7月 9日 法規制及び建物配置図等を基に候補地の検討

☆7月21日～7月23日 第1回 地域報告会

②今後の日程

- 第4回 8月 3日 事業化可能性の検討、1次絞込み

☆8月 7日（土） 先進地見学会（希望者）

☆8月 中旬 第2回 地域報告会

- 第5回 9月 1日 答申案の検討

- 第6回 9月27日 答申

22

近年の火葬技術

近年の火葬炉の技術向上により

- 煙突はなく、無煙無臭
- 市街地に立地例あり
- 公園としても利用例あり



23

近年建設された火葬場（羽島市）



24

近年建設された火葬場（羽島市）



近年建設された火葬場（羽島市）



近年建設された火葬場（羽島市）



近年建設された火葬場（近江八幡市）



近年建設された火葬場（近江八幡市）



近年建設された火葬場（近江八幡市）



近年建設された火葬場（枚方市）



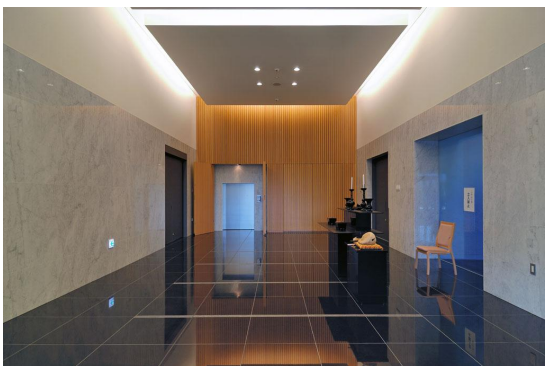
31

近年建設された火葬場（枚方市）



32

近年建設された火葬場（岡谷市）



33

近年建設された火葬場（岡谷市）

周辺航空写真



34

建設までのスケジュール

平成22年度

～平成23年度 環境アセス・測量・地質調査・基本設計

平成24年度

詳細設計

平成25年度

建設工事（造成）

平成26年度

～平成27年度 建設工事（建物・設備）

※工事完了後、平成27年度中に施設稼動

平成27年度中に施設が稼動しないと合併特例債の対象になりません！！

35

ご意見をお寄せください

ご静聴ありがとうございました

ご意見・ご質問は

市民環境部環境課

TEL 22-1111 廃棄物対策グループ

メール kankyo@city.tajimi.gifu.jp

FAX 25-8222

意見箱 受付設置しています

36